

今月の



## 隣に伝えたい 新たな言葉と概念

### 【Mooreの4分類】

- 英 The Four Phases of Convalescence
- 和 ムーアの4分類
- 類 ムーアの分類

フランシス・D・ムーアが提唱した手術侵襲からの回復過程における生体反応の変化であり、この回復過程については「回復期には、全ての連動した身体的、化学的、代謝的、心理的な要因が含まれており、回復過程は、手術侵襲とともに或いは手術侵襲の少し前に始まり、個体が通常の身体的健康、社会的および経済的有益、心理的習慣を取り戻した時に初めて終了する」と定義している<sup>1)</sup>。

フランシス・D・ムーアは、手術侵襲からの回復過程を4つの相 (phase) に区分した<sup>2)</sup>。第1相 (phase 1) は傷害期 (injury)、第2相 (phase 2) は転換期 (turning point)、第3相 (phase 3) は同化期 (muscle strength)、第4相 (phase 4) は脂肪蓄積期 (fat gain) である。本邦では、これらをムーアの4分類 (もしくはムーアの分類) と呼んでいる。各相の特徴は以下の通りであり、周術期の栄養管理では、手術侵襲からの回復過程における生体反応の変化を理解することが重要である<sup>3)</sup>。

- 第1相 傷害期 (術後2～4日) 手術侵襲によって副腎皮質ホルモン分泌が亢進して蛋白異化が起こる
- 第2相 転換期 (術後4～7日) 副腎皮質ホルモン分泌が正常に戻って窒素バランスが正に近づく
- 第3相 同化期 (術後1～数週間) 窒素バランスが正常化して蛋白同化が進む
- 第4相 脂肪蓄積期 (術後数週間から数カ月) 体脂肪が蓄積して体重が回復する

#### 参考文献

- 1) Moore FD. Getting well : the biology of surgical convalescence. Ann N Y Acad Sci. 1958 ; 73(2) : 387-400.
- 2) Moore FD, eds. Metabolic Care of the Surgical Patient. Philadelphia: W. B. Saunders ; 1959.
- 3) 仲里秀次, 外村修一. 腫瘍外科学における静脈栄養療法, がん栄養療法ガイドブック2019 (改訂第2版). 東京, 南江堂, p110-3, 2019.

(独立行政法人国立病院機構仙台医療センター 栄養管理室 小原 仁)  
本誌415pに記載